

町民海外派遣研修 参加者リポート④

空き缶、吸殻のない街

佐野 房雄

第3回町民海外派遣研修に参加させて頂き有り難うございました。今回の研修地は、アメリカ、カナダの2ヶ国で10月20日から8日間の旅でアメリカはロサンゼルス、カナダはバンクーバーを拠点として各3日間で、機中泊1泊を含め7泊8日の旅でした。

ロサンゼルスはカリフォルニア州最大の都市で、人口360万人、ニューヨークに次ぐ第2の都市へと成長し、ハリウッドやディズニーランドに代表される娯楽の中心地としても発展してきた町ですが、その華やかな部分とは裏腹に現在では路上生活者を抱え、犯罪の絶えない町でもあるようです。

アメリカでの研修は産業振興について、ロサンゼルス市内リトル東京の商店街の視察です。リトル東京は1884年ここに居を構えた日本人コックが洋食店を始めたのが街の起りといわれています。第二次世界大戦中は日系人が収容所に移されたため一時廃墟と化したのが、戦後復興

下ろす岩山はすべて大自然の芸術である。それぞれの特徴があり、見方によっていろいろな形に見える、時間の経過によってカラフルな変化の美しさを見せてくれる。特に朝晩の太陽に映えるグラントキャニオンの美しさは圧巻のことだった。私達はお昼近くであったが残念ながらその美しさは見られなかった。

(略)

研修2つ目の目的地、バンクーバーコミュニティカレッジを訪問する。この学校は短大相当の職業訓練校で2年で修了、バンクーバー市内に3つのキャンパスを持ち、生涯教育のプログラムが多岐で、1コース25名程度で640コースもある。昼間の学生が7000人、夜間の学生が4000人おり、昼間の学生は奨学金で学ぶが夜間の学生は有料である。又、男女の比率



グラントキャニオン

し、現在ではビジネス街、ショッピング街、文化会館、寺院、日系人の老人ホームなどさまざまな機能がそろっている街のようです。その一角のジャパニーズビレッジプラザは木材使用の火の見櫓と青焼き瓦に象徴される商店街で、買物や食事も日本語が通じる商店街です。現在はアメリカ西部を旅する日本人が必ず行く所のようにです。現在商店街は日系人より中国人、韓国人の進出が目立ち、色々な面で商店主の日系人は大変のようです。商店街の発展としては住民相手より旅行者相手の特異な商店街で、観光者の増加が商店街の発展につながる思いがしました。

(略)

バンクーバーはカナダ第3の都市で、人口150万人の都市で都会の華やかさと豊かな自然に恵まれた街で、ショッピングや食事、美術館巡りといった都会ならではの楽しみ、又、郊外にほんの少し足を伸ばせば、山や溪谷川などの自然を満喫することができる素晴らしい街です。

カナダでの研修は成人教育についての研修で、バンクーバーコミュニティカレッジという名前は大人

は女性が少し多く、一般民間人、学生も夜間をよく利用するといふ。近年、健康の講座に人気があり、全身医療、東洋医学の針、指圧なども指導。そして特殊の生徒、車イス者、視覚障害者もあり、奨学金を出して援助している。カナダは人口が少ないので移民を受け入れており、多種人種となる為、言語の問題があり、英語教育に特に力を入れている。又、先住民(インディアン)は教育が遅れているので、これにも力を入れて教育しているといふ。日本のカルチャー教室や各種学校と異なる教育機関であり、大変すばらしいことではあるが日本にこれを持ち込むと、まだまだいろいろの面で障害があるように思われた。

(略)

最後に同じ黒崎町に住みながら、こういうひとつの出会いの場がなければ、つきあうこともなかったかも知れない団員の皆様と、8日間行動を共にし、共に学びながら、友情と親睦を深め得たことは、人生の中で何回もあることではない。皆様方に感謝申し上げます。皆様方からお礼を申し上げます。そして、この機会を与えてくれた町当局にも心からお礼を申し上げます。今回の研修テーマであり、私達が学んだ「産業振興」と「成人教育」が今後の黒崎町の為に少しでも役立てれば幸いと願いつつこのリポートの結びとしたい。



バンクーバー・コミュニティカレッジ

学ですが、日本でいえば予備校と職業訓練所を合わせたような学校でした。

生涯教育プログラムが多岐で640ものコースがあり、夜間は様々なコースを提供し、一般民間人、学生もよく利用しているようです。生徒数は昼間7000人、夜間4000人が学んでいるそうです。日本の国土の26倍と広大な国土を持ち、人口は2800万人弱で、人口構成は英国系43%、フランス系26%、その他先住民のインディアン、イタリア系、ドイツ系、ギリシャ系、中国系、日系等で構成されており、現在でも移民の絶えない国で、母国語としていない人の英語、フランス語教室の人気があるようです。

生涯教育とはいっても日本と違い、移民者の為の職業訓練英会話、フランス会話を主目的とした所で、日本の生涯教育とは少し違いを感じた研修でした。

(略)

今回の研修で思ったことは、どこへ行っても空き缶の一個、吸殻の一本も見つけることができない程街がきれいだったことです。先進国といわれて久しい日本を美しい町にどの思いで帰国しました。微力ながらも黒崎町発展の為に尽力していきたいと思っております。

友情と親睦の派遣研修

谷井 輝雄

(略)

研修の目的の1つ、ロスのジャパニーズビレッジプラザ、すなわち、歴史的背景と住民ニーズにあった街の再活性化をはかった商店街といわれたリトル東京を訪問した。火の見櫓と青焼き瓦で象徴される商店街で、約48店舗のうち3分の1がレストラン。外にカレー、うどん、ラーメン、焼きそば等々。七夕祭、七五三、二世ウィーク祭など行事は多彩で、日系人の心のふるさと。そして、すべて

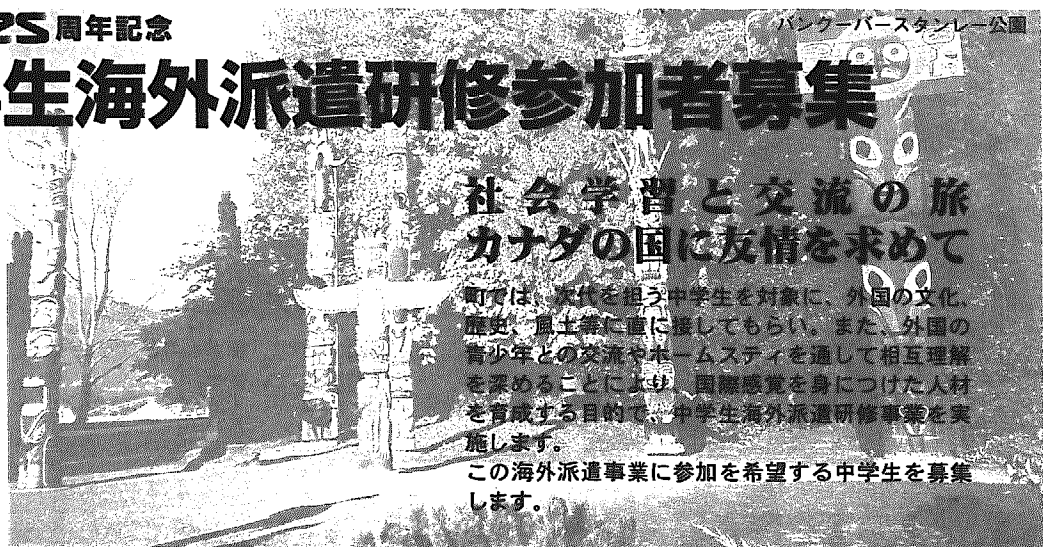
日系人の経営である。しかし、アメリカ最大の日本人街も、日本の新聞、本、日本食、カラオケバーまでありながら、近年在留邦人が郊外に住むようになったこと、ここを心のよりどころとする日系二世が減少していること、日本企業がオフィスと郊外に開いていること、日本総領事館が転出したこと、そして、日本人街がほとんど華僑の建物で家賃がかなり高いこと、リトル東京の南側(裏側)は治安が悪いことなどがマイナスイメージとなっており、今後どのように変化して行くのか注目されることである。どうも少しづつ衰退してきているように見えて仕方がなかった。

(略)

グラントキャニオンを視察した。アリゾナ州を流れるコロラド川が、数億年の歳月をかけて大地を浸食し、つくりあげたグラントキャニオン。幅6.5km、29km、深さ1km、1.6kmという途方もない大きさは、まさに大自然という言葉がピッタリあてはまる。氷河期から今日に至るまでの長い年月をかけて表出した地層は地球の歴史そのものである。さまざまなメディアを通して世界中の景色を見られる現在、たとえ予備知識を持っていても、実際にグラントキャニオンを目のあたりにすると、その圧倒的なスケールにはただただ驚くばかりである。グラントキャニオンはその雄大さだけでなく、その美しさも崖のふちから見

町制施行25周年記念

中学生海外派遣研修参加者募集



社会学習と交流の旅 カナダの国に友情を求めて

町民は、次世代を担う中学生を対象に、外国の文化、歴史、風土等に直接触れ、また、外国の青少年との交流やホームステイを通して相互理解を深めることにより、国際感覚を身につけた人材を育成することを目的として、中学生海外派遣研修事業を実施します。この海外派遣事業に参加を希望する中学生を募集します。

事業の概要

社団法人日本外交協会(外務省の外郭団体)が企画主催する「ジュニア大使友情使節団(外務省が後援)」に町の中学生を派遣します。

派遣先
カナダ国(ブリティッシュ・コロンビア州、アルバータ州)

派遣期間
8月3日(月)～14日(金)(事前研修を含む) 5人

応募資格
応募できる者は、次の要件を満たす者とします。

- ① 4月1日現在、町に住居登録をしていること。
- ② 町立黒崎中学校に在学している生徒であること。
- ③ 心身ともに健康で、協調性に富み、規律ある団体生活ができること。
- ④ 派遣生としての体験を生かして、帰国後も地域や学校において活発な活動に参加する意欲のあること。
- ⑤ 派遣応募につき保護者の承諾が得られること。
- ⑥ 海外に居住した経験が無いこと。
- ⑦ 国、地方公共団体等の実施した海外研修に参加したことが無いこと。
- ⑧ すべての事前、事後研修に出席できること。

ただし、②と⑦については、町長が特に必要があることを認められた場合は限りありません。

黒崎中学校に在学している生徒には、学校を通して募集を行います。

応募申込期限
4月27日(月)
詳しくは
役場企画商工課企画係 ☎377-3101